

白濁天使との、

とろけるような情交♡



DOJIN
R18

成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

今日はアズサちゃんを
家に招待した。

彼女と一緒に歩いていると
ほんのり漂う香りが…好き…
もっと近くで感じたい…

こういう時、どうしてもいやらしい
妄想が浮かんでしまう…

可愛いな…アズサちゃん…えへへ♥
小さくて可愛い体つき、
人形みたいな顔立ち…その服の隙間から
見える肌も…たまんねえ…目が離せない…
彼女の体から視線を動かせない…

やっぱり…この子
俺を誘ってるのかな…そうだ
きっとそうだ…だから俺は…
こんなことばかり考えてしまう…



アズサちゃんと
エッチしたい！

このアプリなら問題ないだろ…
(ミレニアム開発した催眠アプリ)

もちろん、催眠をかけて
エッチするためだよ

老師が私を
呼んだのは…
何の用ですか…

さあ…始めようか…
快樂の虜に
してやるよ…♡

全然
反応がない…

先生って…変態

えっ…ごめん
俺、何も
言わないけど

ダメだなんて
一言も言っていないよ
でも、

あれ？

じゃ…
アスサちゃん…
その意味って…

先生、もう準備できたよ

断るどころか…むしろ
楽しみにしてるよ







そんなに
急いでるの...



先生の吐く
熱い息が...

ふう...一目見た瞬間、
胸に完全に釘付けた...



アスサちゃんの
かわいいチクビは
すごい
敏感だな



んーうう
ズサの味...
本当に最高だな



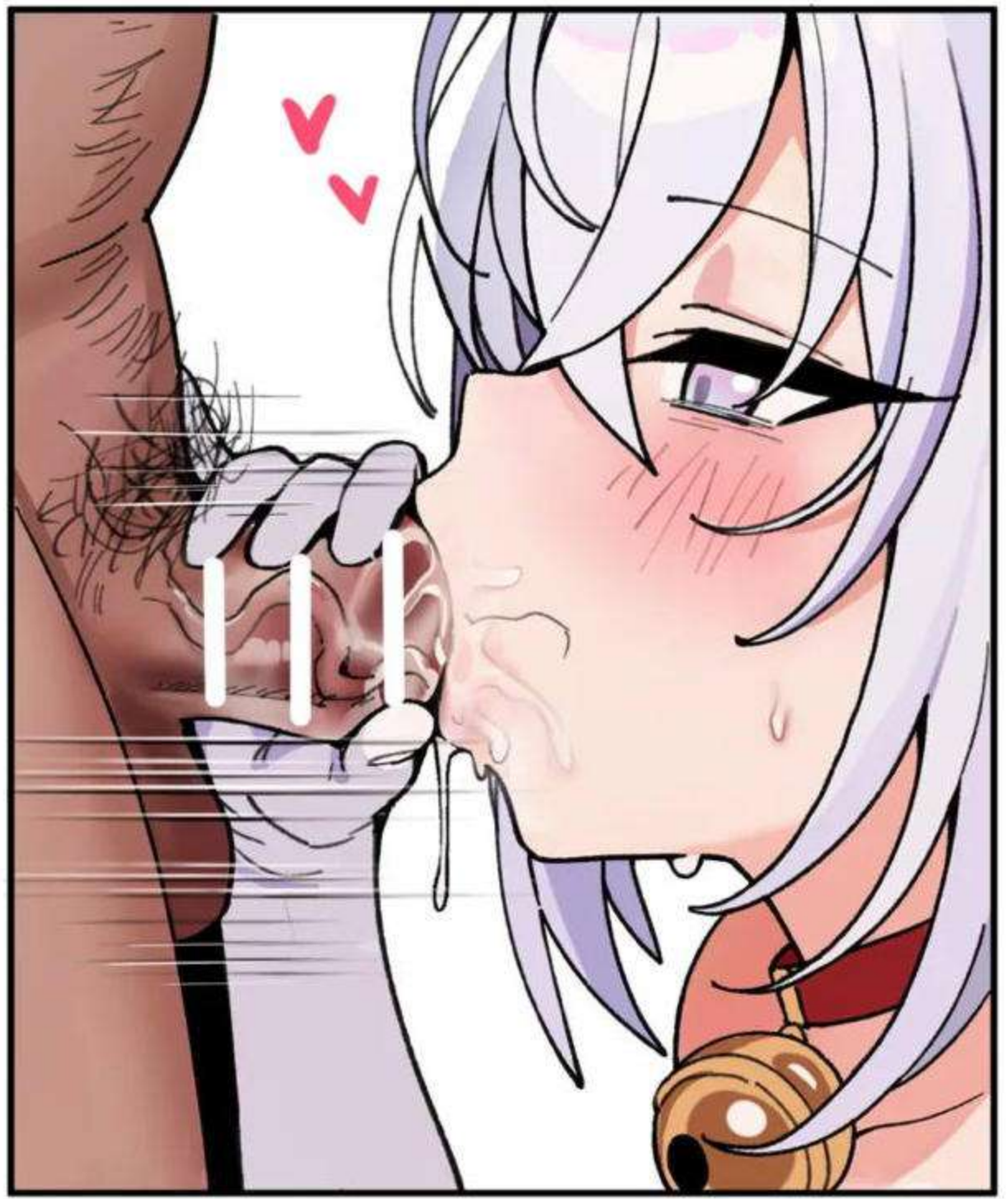
やっぱり
しっかり
味わわないとね



前戯の後は、
もちろん...







調子に乗らないでね…
これからは
アズサちゃんのマンコに…
特別なトレーニングを
しちゃうから

まだ始めてもいないのに
もうビショビショじゃん…
前も軽く触っただけで
すぐ濡れてたし…やっぱり
アズサちゃんの雑魚マンコ…
弱すぎ…

ねえ先生…そんなに
甘く見ないでよ…

じゃあ…アズサちゃんが
どこまで我慢できるか
楽しませてもらうよ…

ああ…もう愛液が…
止まらないね…w

はあ…最高…♡
指が止まらないね
もうちょっとだけ耐えて…

セクッ

セクッ

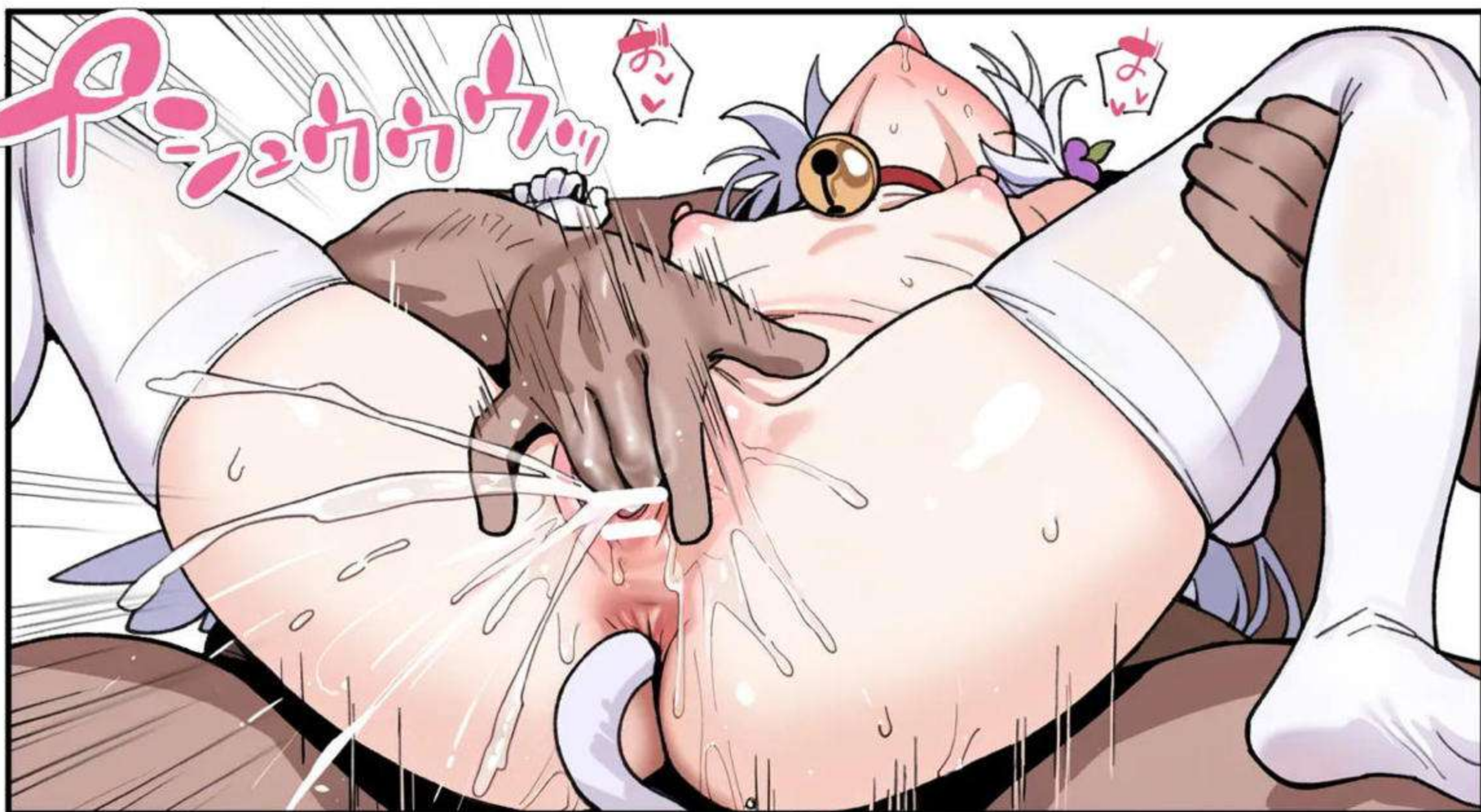
セクッ

シチャオオッ

5分後

どうだ？ 5分でもう2回も
イッちゃったね！

アズサちゃんの雑魚マンコ…
補習はハッチリだねw





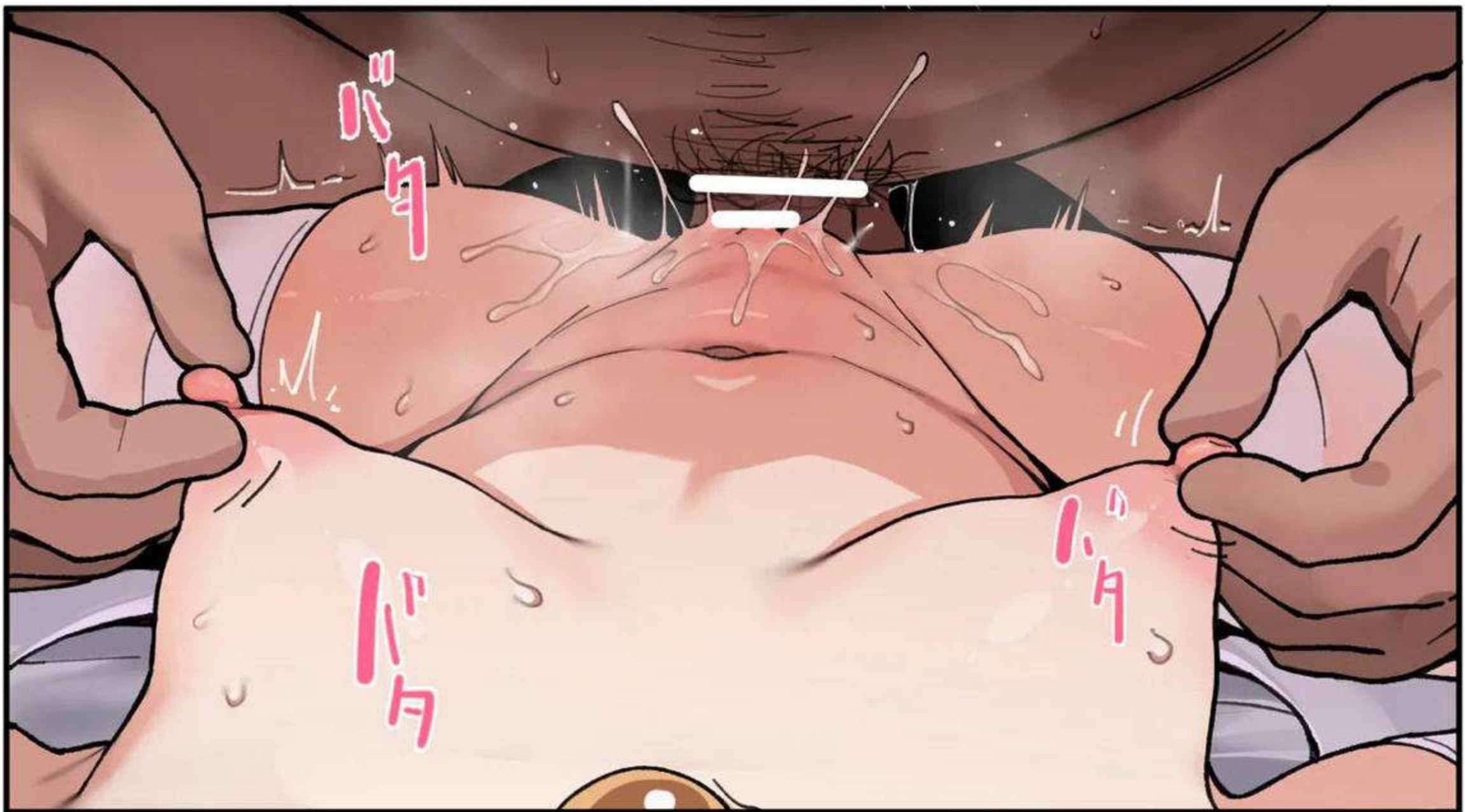




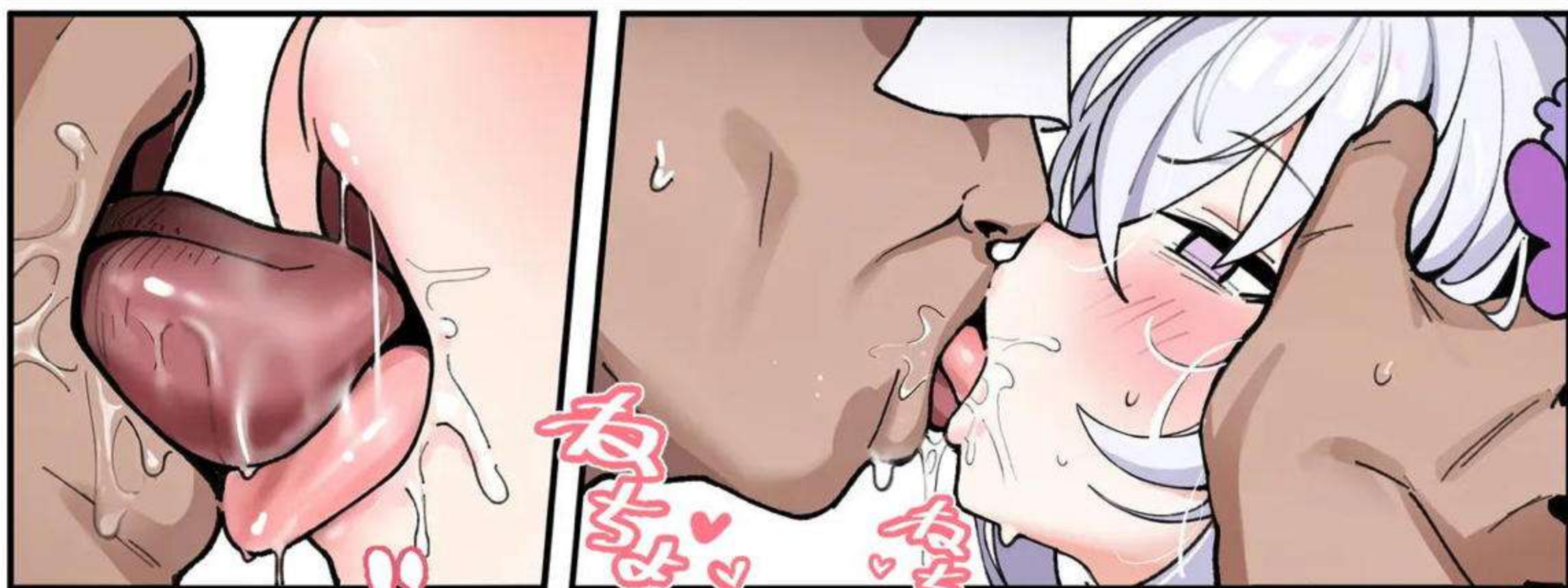
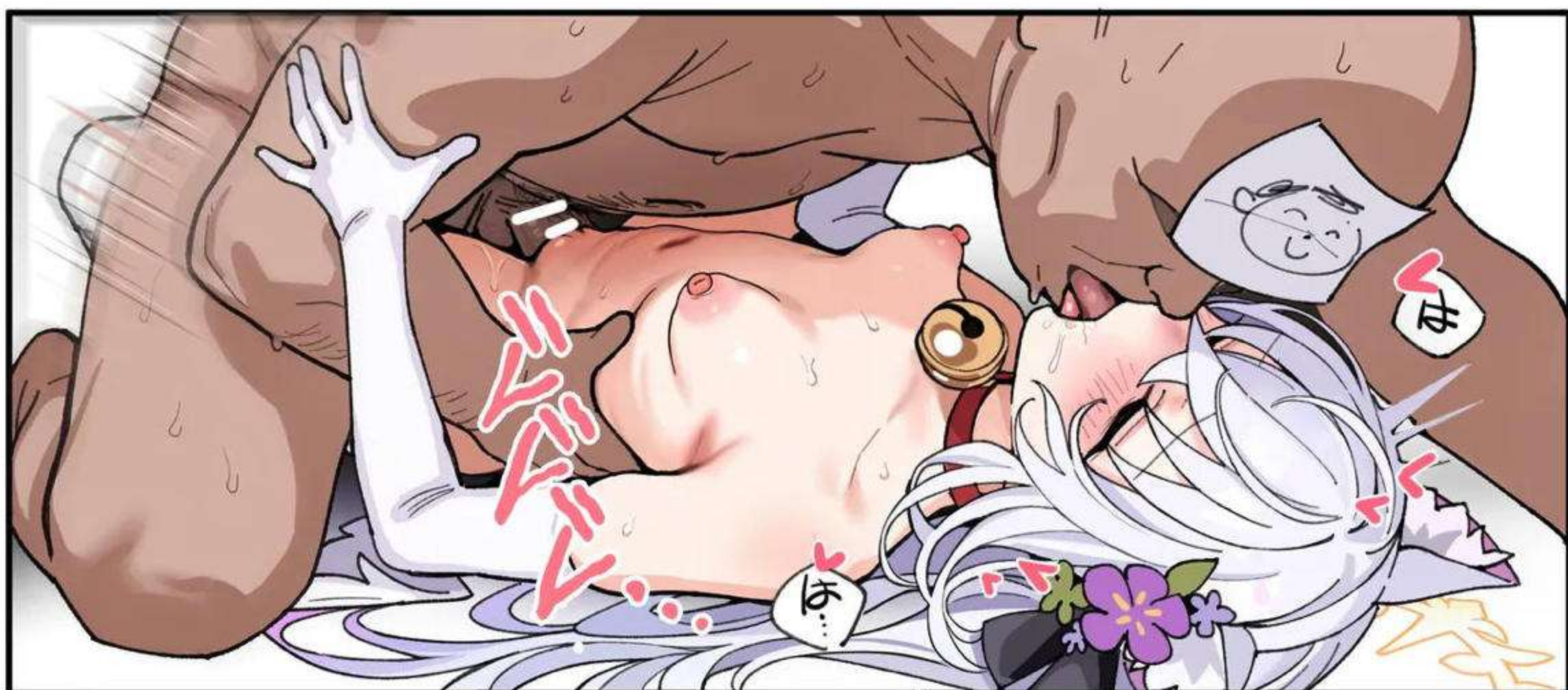














あの…俺はもう限界だから
この話はまた今度にしようか？
ちょっと休ませてくれ…

とにかく、
何か理由を
てっち上げて
逃げよう…



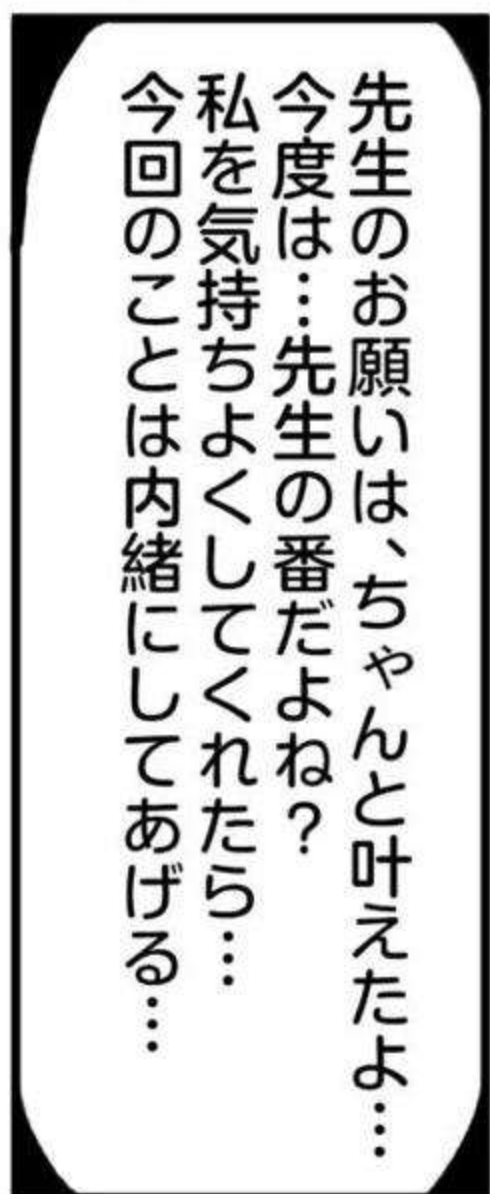
その格好で
買いに行ったの??

さっきエナジ
ドリンクを
買って来た



先生、今逃げたら、
大人としての尊厳はもうなくなるよ。
このままだと、先生のキャリアも
完全に終わっちゃうんだからね。

生徒を誘惑して催眠かけて
挙げ句に犯すなんて…



先生のお願いは、ちゃんと叶えたよ…
今度は…先生の番だね？
私を気持ちよくしてくれたら…
今回のことは内緒にしてあげる…



先生ともっと絡み合って
気を失うまでしたいの…

だから先生…思いつきり
私をめちゃくちゃにして♡



そっ…



こうなった以上…

こんなことになったのは
先生のせいだが…
アスサちゃんか
先生を舐めるなんて
さすがに怒るよ

このガキめ…
大人を誘惑するなんて…
そういうタイプだとは
思わなかったよ

そんな強気なこと言って…
エッチのときはずっと
受け身なんだろ？

おもちゃみたいにするの
好きなんだよね？ ねえ…
アスサちゃんって…
ドMなの？

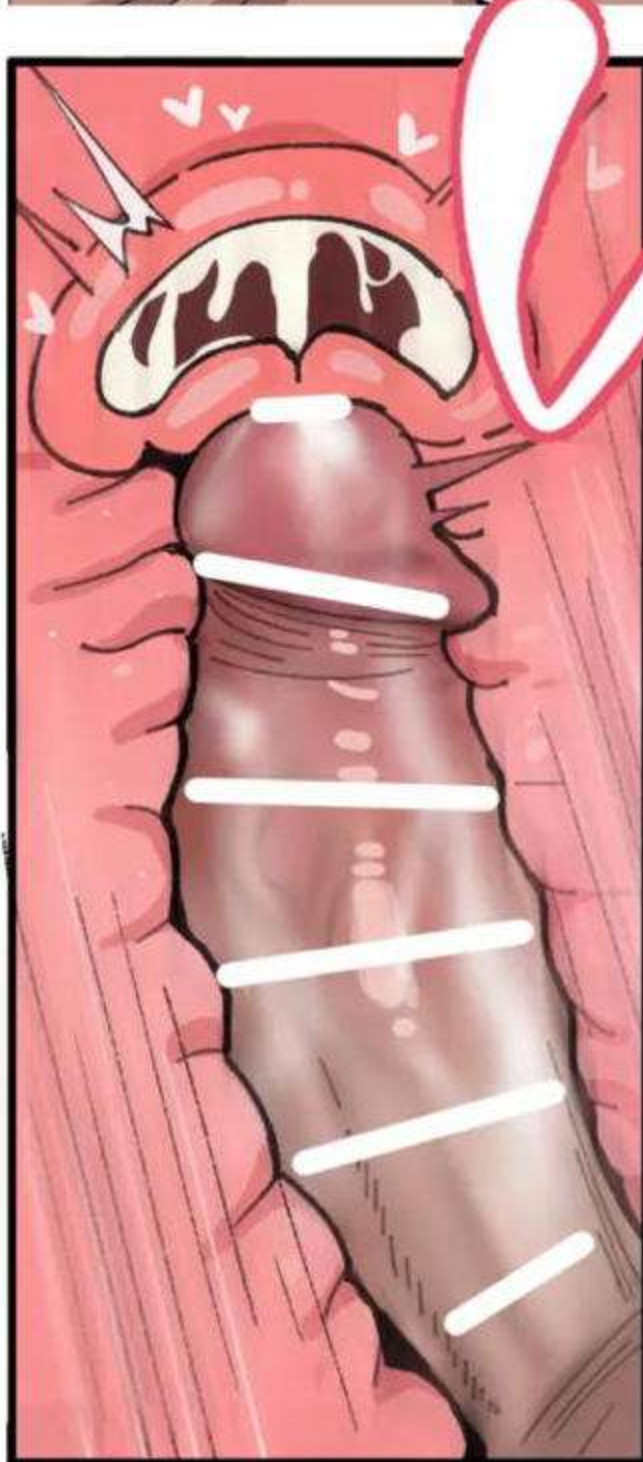


その後の時間、二人は
ずっとエッチしていた。

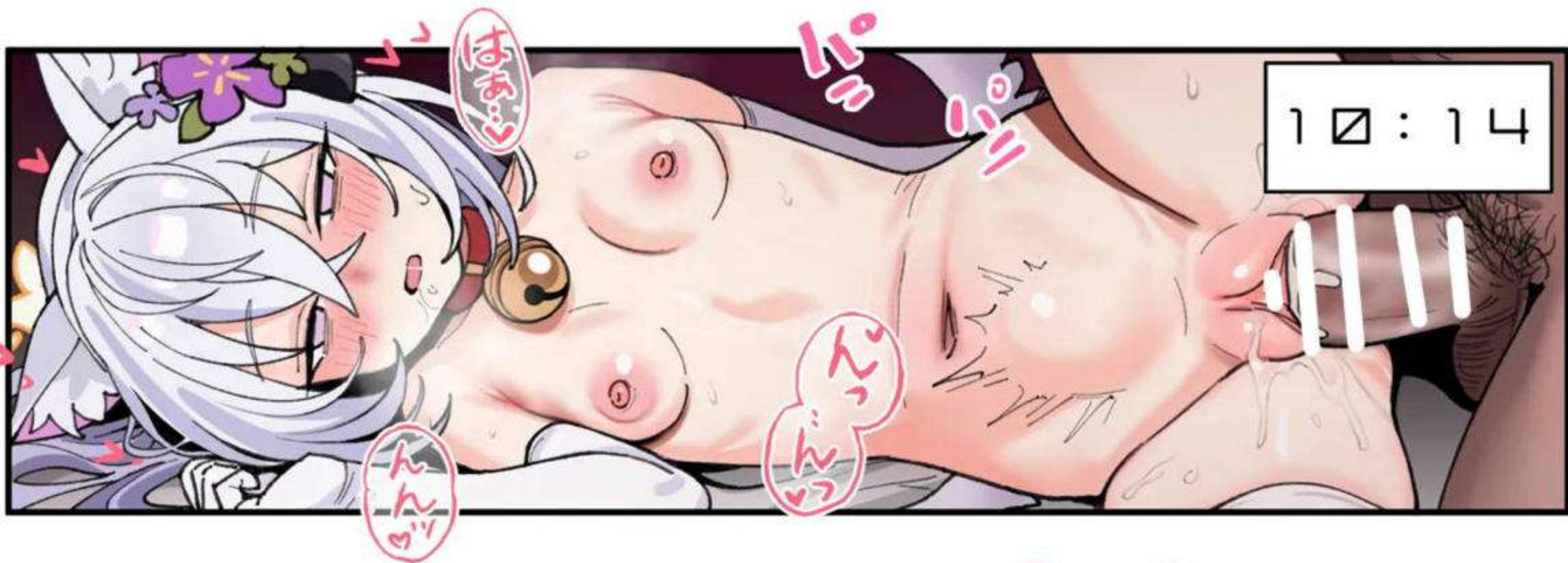
7:20

8:07

9:43







もう一回…濃厚なキスで
元気つけてあげる♡



「意識がボーッとした状態で、
また1時間くらいエッチした」

アズサちゃんが
自分で言い出したくせに
先にダウンするなんて…
ほんとわがままな子だな…

ゴメン…



本を手にとって、ここまで読んでくださってありがとうございます！

今回が初めての漫画制作で、
まさに描きながら学んでいくスタイルだったのですが……
想像以上に大変でした！
初挑戦ということもあり、
至らない点がたくさんあると思いますが、
どうか温かい目で見ていただけると嬉しいです。

描きたいシーンは本当にたくさんあったのですが、
カラー作業があまりにもキツくて、最終的に何ページか削ることに……。
そのせいでストーリーが少しゴチャゴチャしてしまい、
変なセリフで無理やり繋げたりしてる部分もあって、
テキストがやたら多い箇所もあります。

そもそも漫画を描こうと思った理由は——
梓ちゃんの本があまりにも少ないから！！
「それなら自分で描くしかない！」と、
微力ながら推し活の一環としてチャレンジしてみました。
好きな子がマイナーだと、なかなか供給がなくてツライですね……
ぜひぜひ、白洲梓ちゃんの応援をよろしくお願いします！

(誰も気にしてないかもですが……もしよければ、
続編も描いてみたいなって思ってます……！)

「白濁天使との、 とろけるような情交」

発行日□ 2025/8/16

発行元□ カワイイアズサ

発行者□ 絨灰

pixiv□ 116293341

twitter□ @7274Ro

fanbox□ ro7274.fanbox.cc

印刷□ サングループ



